

平成29年度 美濃商工会 経営発達支援計画の報告

当会では経済産業省より平成27年11月に経営発達支援計画が認定されました。この計画は平成27年4月から平成32年3月までの5年間にわたり、小規模事業者の計画作成・実施支援や地域活性化にもつながる商談会出展支援などを行い、小規模事業者の事業の持続的な発展に向けて支援するものです。

平成29年度はこの計画に基づき1年間、小規模事業者支援を行ってまいりました。評価・見直し案については益田市有識者と内部事業委員会において決定し、理事会において承認されていますので報告いたします。

※総合評価はA～Dの4段階で評価されております。

地域経済動向調査

総合評価 C

管内24事業所の景況調査を年間2回実施し、天気図としてまとめました。また全国・島根県の経済状況等の情報収集を行ったほか、益田市内の建築着工数を集計し、会報とHPにおいて会員事業所へお知らせをしました。これらの情報を経営分析や事業計画策定に活用するとともに、商業支援策として共同売出し等の事業に取り組みました。

30年度は…

景況調査は、より正確な業況を把握するため、調査事業所を徐々に増やしていきます。

需要動向調査

総合評価 C

各種新聞やネット等により情報収集を行ない、関係する事業所に提供しました。これにより、流行の商品や競合店の取組みを分析し、チラシ作成等の販路開拓に取組み売上げの改善のための支援を行いました。

30年度は…

今年度同様、巡回時に事業所の必要としている情報ニーズを収集し、ニーズにあった情報提供を行い、事業所の売上アップにつなげるとともに、様々な業種の専門的な知識を蓄え、常に新しく、効果的な情報を提供できるよう心がけます。

経営状況の分析

総合評価 A

B/S・P/L・CF・損益分岐点・資金繰り分析など財務内容を中心に12件の経営分析を行ないました。分析データを経営計画策定に活用し、金融申込資料や持続化補助金の申請書に活用しました。

30年度は…

継続的に対象事業者を支援するとともに、新たな支援先に取り組みます。経営分析セミナーの開催年間目標の回数を変更し、内容を精査し、効果の上がる内容で実施します。

事業計画策定支援

総合評価 B

目標件数 10 件の事業計画策定・実施を支援しました。その結果、補助金申請や金融支援がスムーズに行えました。また創業・第二創業に関し相談があった事業所の支援を行いました。

30 年度は・・・

今後は創業希望者の掘り起しが必要であるため、一般住民にも PR をします。また、巡回指導を強化し、第 2 創業者の掘り起こしに力を入れます。

新需要開拓

総合評価 B

『商工会生活応援隊』事業に取り組み、新聞折込みチラシを入れ、個々の受注につなげました。『みとのええもん』パンフレットをイベントで配布しました。補助金活用支援（8 件）を行うことにより新需要開拓支援を行いました。また商工会、美都町特産観光協会、匹見町観光協会のホームページ更新を行い、商工業者に有意義な情報や、観光・特産・イベントに関する情報を掲載し、交流人口の増加や地元商品の PR を行いました。

30 年度は・・・

販路開拓を行う上でホームページ作成が欠かせない業種もあるため、作成支援を強化していく。「生活応援隊」を継続し宣伝 PR に力を入れて、事業所の受注につなげる。

地域経済活性化

総合評価 B

ゆずやわさびの産業活性化への取り組みや木質バイオマス活用の研究を行いました。また、共同売出しやお買物券発行を行ない、地元商店利用を促進しました。温泉まつりや春まつり等のイベントの実施・協力による地域活性化に取り組み交流人口の増加に寄与しました。

30 年度は・・・

今後もゆず・わさびのブランド化に、より注力し取り組んでいきます。

支援能力向上の取組と事業評価・見直し

総合評価 A

支援能力向上については様々な研修会や web 研修の受講により職員のスキルアップを図りました。また、益田市産業支援センター連絡会議において情報交換等を行ない、関係者との支援体制を築きました。

事業評価は 4 月に有識者により評価をしていただき、ホームページにおいて公開しました。事業進捗状況の確認は、10 月に 1 度行ないました。

30 年度は・・・

進捗状況の確認回数を増やし、計画通り PDCA を実施します。